

地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「さくらフェスタ」

1. 趣旨

富士見地区をはじめ前橋市及び周辺地域の人々に施設を開放し、交流の家の年度のスタートを知らせる。体験活動の意義や重要性を深めるために、施設内で咲いている桜の観賞や体験活動を提供する。

2. 事業の概要（期日と参加者）

	内容	期日	参加人数
1	スタンプラリー	4月5日～7日	57名
2	クロージングセレモニー 特別演奏会 ササビーとのふれあいタイム スタンプラリー	4月8日	72名
	合計	4日間	129名

3. 企画運営のポイント

- (1) 地域住民の方に広く周知できるよう、メディアや地域の回覧板等を活用する。
- (2) 体験活動の意義や重要性を伝えることが出来るよう、桜を鑑賞しながらのスタンプラリーや自然の中での特別演奏会を企画する。
- (3) 安心・安全なプログラム運営ができるよう、実施前や実施期間中に落ち枝等の点検を行う。

4. 事業の様子



「受付」



「市立前橋高校吹奏楽部演奏」



「ササビーとの記念撮影」

5. 成果と課題

(1) 成果

- ① イベント日には、想定を超える集客があった。
- ② 子供から大人まで、スタンプラリーや演奏会を楽しんでいた。
- ③ 事業実施前や、実施中の点検により事故やケガ等がなかった。
- ④ 法人ボランティアの協力により、来場者の受付、スタンプラリーや演奏会の運営が円滑に進められた。

(2) 課題

- ① 前橋市富士見地区の回覧板を活用したが、一部回覧されるのが遅い地域があったので、可能な限り早い時期に広報を始める必要がある。
- ② イベント日が、荒天時だった場合にも桜を感じてもらえるような工夫が必要である。

担当 企画指導専門職 杉山 直弥